

2025年（令和7年）の第20回世界バラ会議福山大会2025に向け、未来へとつながる持続可能なばらのまちづくりについて考えるとともに、開催都市に相応しい形で世界中の人たちをお迎えするための、街中のばらやばら園をはじめとする公共空間におけるばらの植栽デザイン計画を策定する。

<これまでの取組>

世界バラ会議福山大会専門委員会幹事及び市関係課による取組

- ・2021年（令和3年）7月27日：第1回意見交換会
- ・10月5日：現地フィールドワーク
（福山駅前～ばら公園・花園公園・緑町公園）
- ・10月12日：第2回意見交換会
- ・11月9日：現地フィールドワーク
（福山市役所<東桜町緑地>～福山城公園）
- ・11月16日：第3回意見交換会

<今後の予定>

- ・2月下旬～：第4回意見交換会（予定）
- ・3月末：公共空間におけるばらの植栽デザイン計画の策定

計画区域

JR福山駅周辺（福山城公園）～ばら公園（花園公園・緑町公園）



ばら公園ほか

本市のばらのまちづくり発祥の地であるばら公園をはじめ、各公園を未来に向けて魅力あるばら園となるよう、空間的な魅力を創出するような植栽デザインを構築する。

福山市役所周辺・その他公共空間

（ローズロードなど）

ローメンテナンスで栽培できるばらを中心とした植栽デザインを構成する。
（新たな魅力のある空間づくり）

<基本的な考え方>

- ・全体を俯瞰した統一性のあるストーリーを構築したうえで、個々の場所が持つ背景（歴史）、景観を踏まえたものとする。
- ・ローメンテナンスで栽培できるばらの導入を図るとともに、既存施設の構造物等を大きく変えることなく、その構造物等を活かしながら魅力的な空間を創出する。
- ・話題性や独自性を生み出し、観光客の誘致につながるようなものとする。

2023年度 植栽工事

2022年度 植栽デザインをもとに詳細設計

2021年度 植栽デザイン計画策定

世界バラ会議福山大会レガシーとして未来へつなげていけるような植栽デザインを構築

2025年5月

世界バラ会議福山大会開催



福山城公園（福山駅周辺含む）

福山城の歴史的背景を踏まえながら、その空間に調和したものとする。福山駅周辺については、ばらのまち福山の玄関口にふさわしいインパクトを創出する。



<北口スクエア>

ばらが感じられる空間を整備（2021年度）

<福山駅前整備イメージ>